

## 枚 方 市

枚方市学校版環境マネジメントシステム  
(S-E M S) について

～環境にやさしい学校園づくりと枚方市の暑気対策～

## 背景

環境についての意識が高まる中、本市は「環境保全都市」の実現を目指しており、市役所において、I S O 14001の認証を取得し、環境保全活動を実践しています。

市立の学校園においても、環境負荷の低減を図るとともに、環境教育を充実させるため、学校版環境マネジメントシステム S-E M S (School Environmental Management Systems) を導入しました。

## 具体的方針

学校版環境マネジメントシステム (S-E M S) の具体的な方針は、以下のとおりです。

- (1) 地球環境の問題解決に向け、ごみ減量化やリサイクルを推進するとともに、紙や電気、ガス等の使用量を削減し、省資源・省エネルギーを推進することで、二酸化炭素等の温室効果ガス排出の削減を目指します。
- (2) 環境教育を推進し、環境に配慮した行動のとれる園児・児童・生徒を育てます。
- (3) 環境に関連する法令を順守するとともに、環境汚染の未然防止に努めます。
- (4) 環境方針を全教職員等に周知するとともに、教職員等の環境に対する意識の向上のため継続的教育・訓練を行い、一人ひとりが積極的に環境にやさしい行動に取り組みます。
- (5) 環境方針は、枚方市内外に公表します。

## 学校園における環境マネジメント

このシステムは、学校園における事務や教育活動か

ら生じる環境への影響を把握し、その改善や保全のために目的・目標を定めて実行するとともに、その結果を点検し、定期的に見直すというもので、枚方市が取り組む I S O 14001 に準じたものです。取組内容は次のとおりです。

## (1) 計画 (P L A N)

- ・各学校園は、学校園から生じる環境に及ぼす負荷（エネルギー消費、ごみの排出等）及び環境保全の取組（エネルギー使用量の削減、ごみ排出量抑制等）の状況を把握します。
- ・順守しなければならない環境関連法令をリストアップし、順守状況をチェックします。
- ・環境管理総括者（教育長）が定めた環境方針、環境負荷及び環境保全の取組状況の把握結果を踏まえて、具体的な目標及び実行計画を策定します。

## (2) 計画の実施 (D O)

- ・全教職員等に、環境方針、目標及び実施計画を周知、徹底します。
- ・環境方針、目標及び実施計画を達成するための運用手順を作成し、取組を実行します。
- ・環境上の緊急事態を想定し、その対応策を定め、定期的な訓練を実施します。

## (3) 取組状況の点検 (C H E C K)

- ・実施計画の取組状況を定期的に確認し、目標の達成状況を点検します。
- ・実施計画の取組状況に問題がある場合は、その是正を行います。

## (4) 取組全体の見直し (A C T I O N)

- ・環境管理総括者（教育長）は、各学校園長による取組状況の点検結果等を踏まえ、必要に応じて、全般的な見直しを実施します。

## (5) 継続的な取組

以上 (1) ～ (4) の取組を 1 年単位で継続しま

す。そして、年度末には、各学校園における取組状況を審査し、合格した学校園を環境保全活動に取り組んでいる学校園として市長が認定します。

## 学校園独自の環境保全の取組

各学校園では、自然との触れ合いを重視した教育活動、地域の緑化のために自分たちの育てた草花を配付する「花いっぱいプロジェクト」、校区等のクリーンアップ作戦、給食の残菜減らそうキャンペーンや生ゴミ堆肥化の取組、河川の美化活動などを行う「アドプトリバー」、文部科学省等の指定を受けた環境教育の取組等が展開されています。

また、校庭を芝生化する「緑のじゅうたん事業」（小学校7校）、「ビオトープ池整備事業」（小学校12校、中学校3校）や「緑のカーテン事業」等の事業にも取り組んでいます。「緑のカーテン」は、施設の壁面緑化の一種で、ゴーヤやアサガオなどのつる性植物で作る自然のカーテンとして、日差しを和らげるだけでなく、室温の上昇も抑えられます。この事

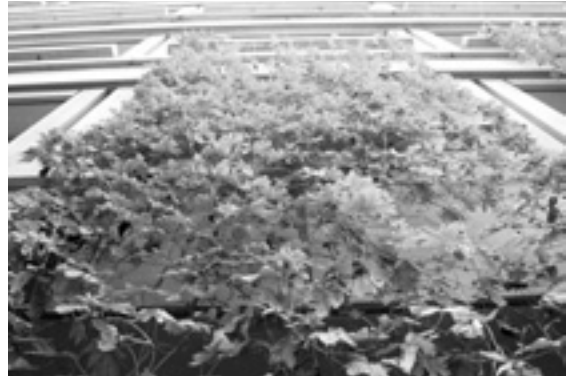


「花いっぱいプロジェクト」市立楠葉西中学校  
（自分たちで育てたパンジーのポットへの植え替え作業）



「通園時のクリーンアップ作戦」市立田口山幼稚園

業は本年度から、小学校2校、幼稚園1園、市役所庁舎で試行的に実施しています。



「緑のカーテン（施設の壁面緑化）」＜市役所庁舎＞

## 「日本一の暑さ」を環境活動の「熱さ」へ ～ 枚方市の暑気対策 ～

本市は、8月6日に全国最高気温38.2度を観測し、新聞やテレビを通じて全国的に『枚方市は日本一暑いまち』と紹介されました。

この『日本一の暑さ』を、市民一人ひとりが環境について考え、行動する『熱さ』につなげていくため、NPO等と連携し、市民・事業者が取り組むことのできる環境活動を紹介し、普及に努めています。

また、雨水等の不要水を使った「打ち水」を普及させるため、「くらわんか打ち水大作戦」も行なっています。平成17年度は鍵屋資料館に雨水タンクを設置し、同資料館周辺の歴史街道を中心に、コミュニティ団体等の協力の下、実施しました。本年度は、宮之阪商店街通を中心に、保育所の園児が打ち水を行ないました。その他、大阪府の協力により散水車による打ち水なども実験的に実施しました。

今後も、「環境保全都市」の実現を目指し、様々な活動や事業に取り組んでいきます。



「くらわんか打ち水大作戦」